

2020年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2019年度	2020年度	前年同期比
売 上 高	27,418	29,626	+ 2,207
営 業 利 益	1,756	4,261	+ 2,504
経 常 利 益	1,962	4,435	+ 2,472
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,095	2,096	+ 1,000

為替レート

\$=108.89円
W=0.0925円

\$=105.55円
W=0.0905円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・**売上高**は、機能性樹脂、基礎化学品、アグロサイエンス、物流関連が減少したものの、機能性色素が増加し、**2,207百万円の増収**
- ・**営業利益**は、販管費が増加したものの、売上高の増加により、**2,504百万円の増益**
- ・**経常利益**は、営業利益の増加等により、**2,472百万円の増益**
- ・**親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の増加、特別損失の減少により、**1,000百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2020年 3月末	2020年 12月末	増 減
(流動資産)	255	295	+39
現預金	68	97	+28
売上債権	112	104	▲8
棚卸資産	70	86	+15
その他	3	7	+3
(固定資産)	293	312	+19
有形・無形 固定資産	222	228	+6
投資有価証券	59	72	+12
その他	11	11	+0
合計	549	608	+59

科目	2020年 3月末	2020年 12月末	増 減
(負債)	178	194	+15
仕入債務	41	45	+3
有利子負債	71	79	+7
その他	65	70	+5
(純資産)	370	413	+43
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	113	130	+17
その他	57	83	+26
合計	549	608	+59

財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	60.6%
・D/Eレシオ	0.21倍	⇒	0.21倍

有利子負債	71億円	⇒	79億円
現預金	68億円	⇒	97億円

第3四半期累計

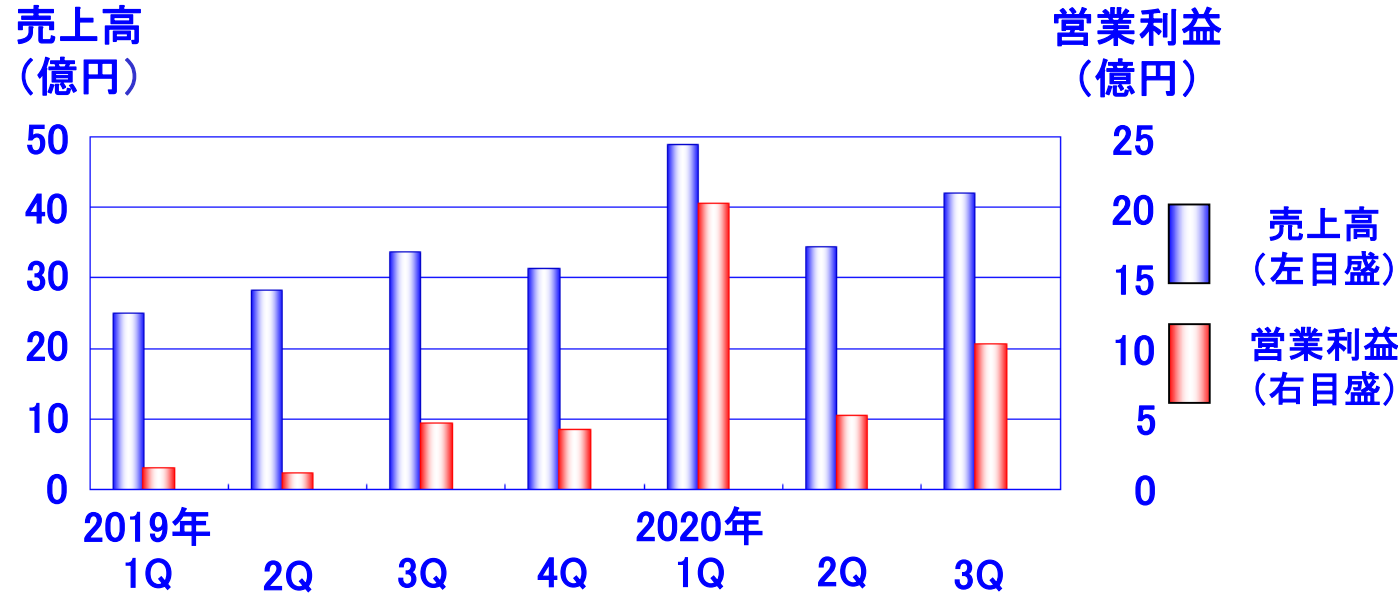
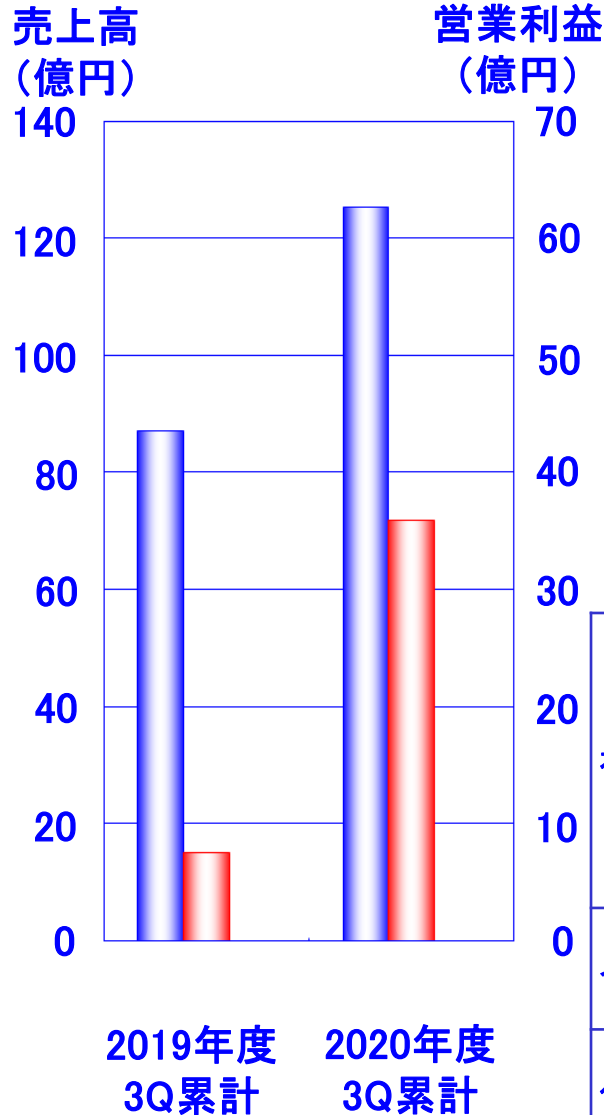
単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機 能 性 色 素	8,714	12,533	+ 3,819
機 能 性 樹 脂	8,801	7,574	▲ 1,226
基 礎 化 学 品	5,377	5,148	▲ 229
アグロサイエンス	2,953	2,933	▲ 19
物 流 関 連	1,445	1,319	▲ 125
そ の 他	125	116	▲ 9
合 計	27,418	29,626	+ 2,207

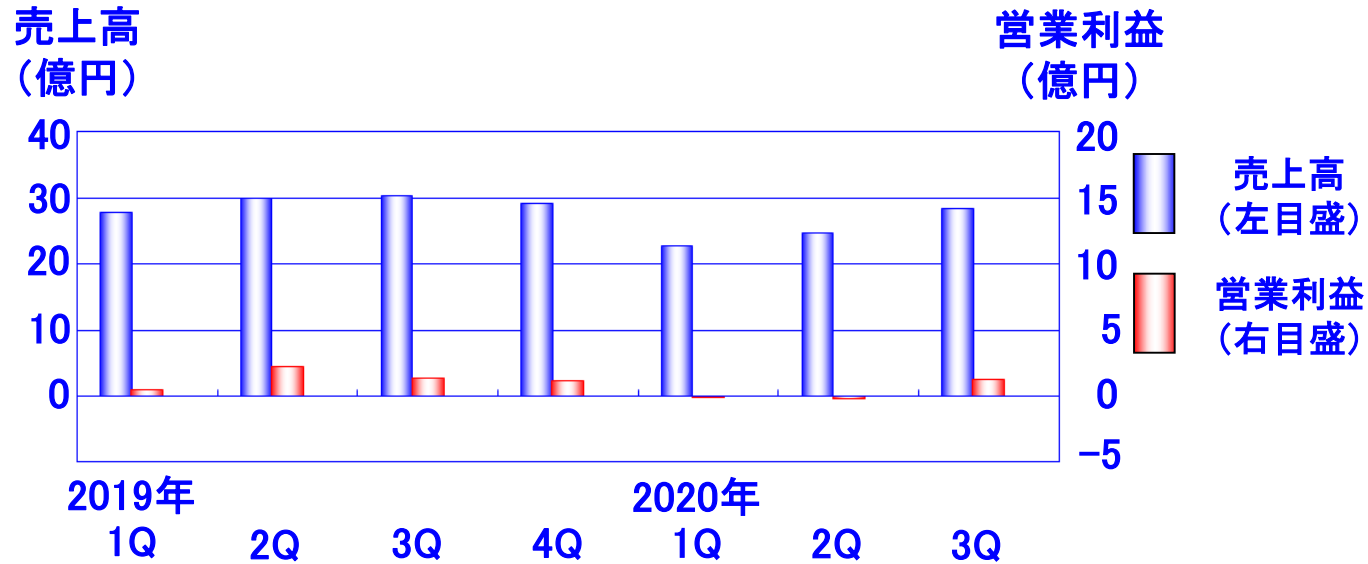
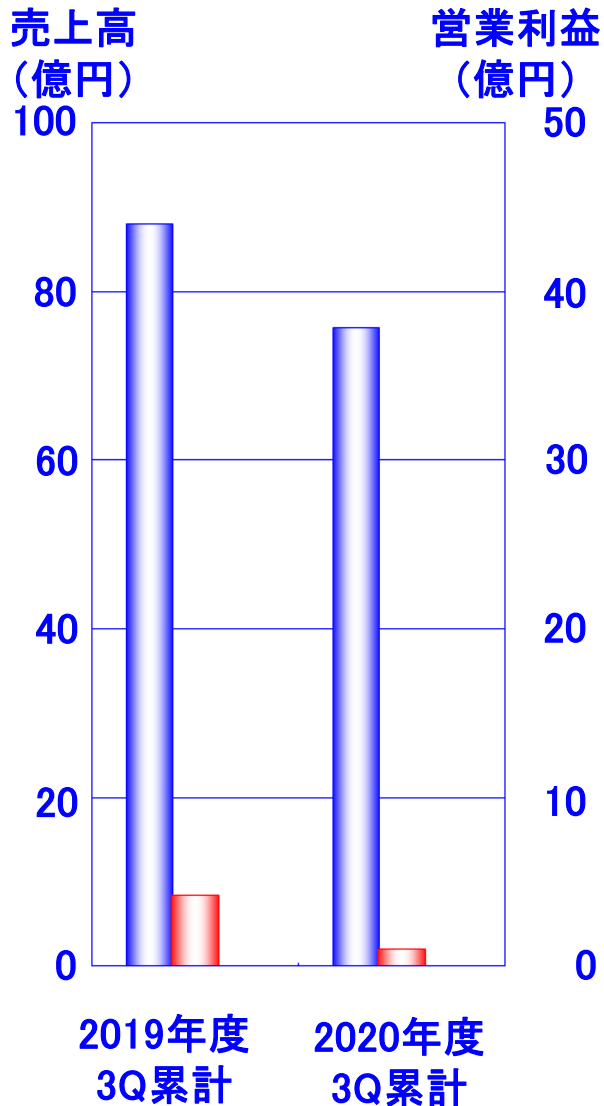
第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

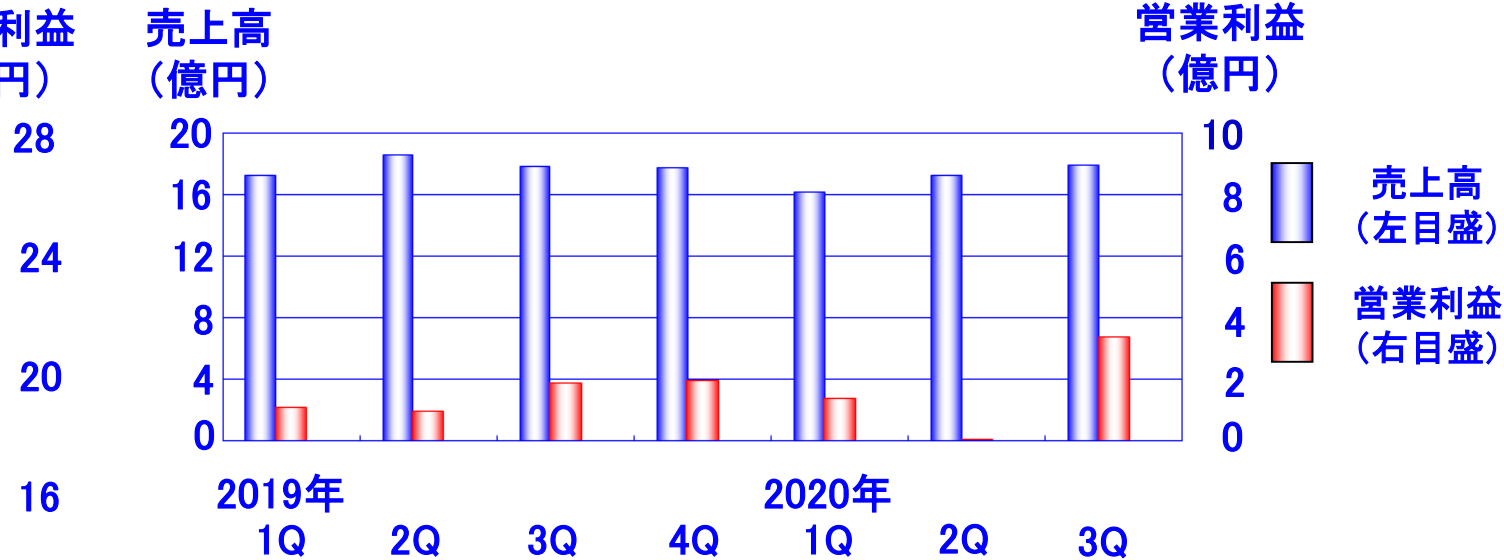
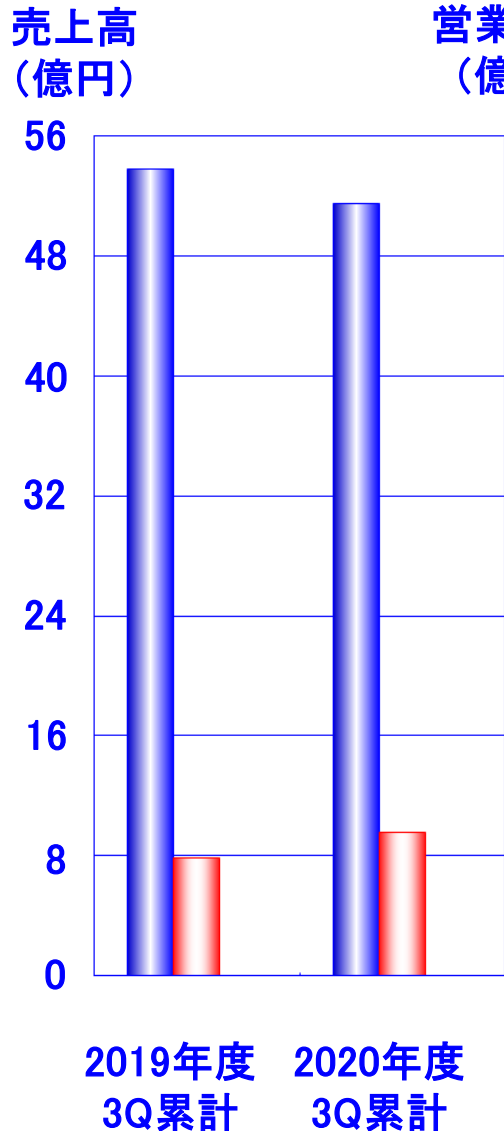
セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機能性色素	750	3,589	+ 2,838
機能性樹脂	415	96	▲ 319
基礎化学品	394	478	+ 84
アグロサイエンス	▲ 92	▲ 151	▲ 59
物流関連	303	233	▲ 69
その他	▲ 17	13	+ 30
合計	1,756	4,261	+ 2,504



有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン向けディスプレイ分野において、液晶から有機ELへの切り替えが進んでおり、需要が増加。 また、当社の子会社において、PCR診断キット用材料が、複数の診断キットメーカーの採用で、第1四半期では大幅な増収。第2四半期では競争激化により、販売量が減少したが、足元では世界的な感染の再拡大により、販売量が若干回復傾向 	
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンター向け材料の需要低迷に加え、コロナ禍の影響により、在宅勤務への移行が加速、印刷需要が減少し、大幅な減収 	
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が増加してきたものの、コロナ禍の影響により、繊維向け染料の需要が減少し、減収 	



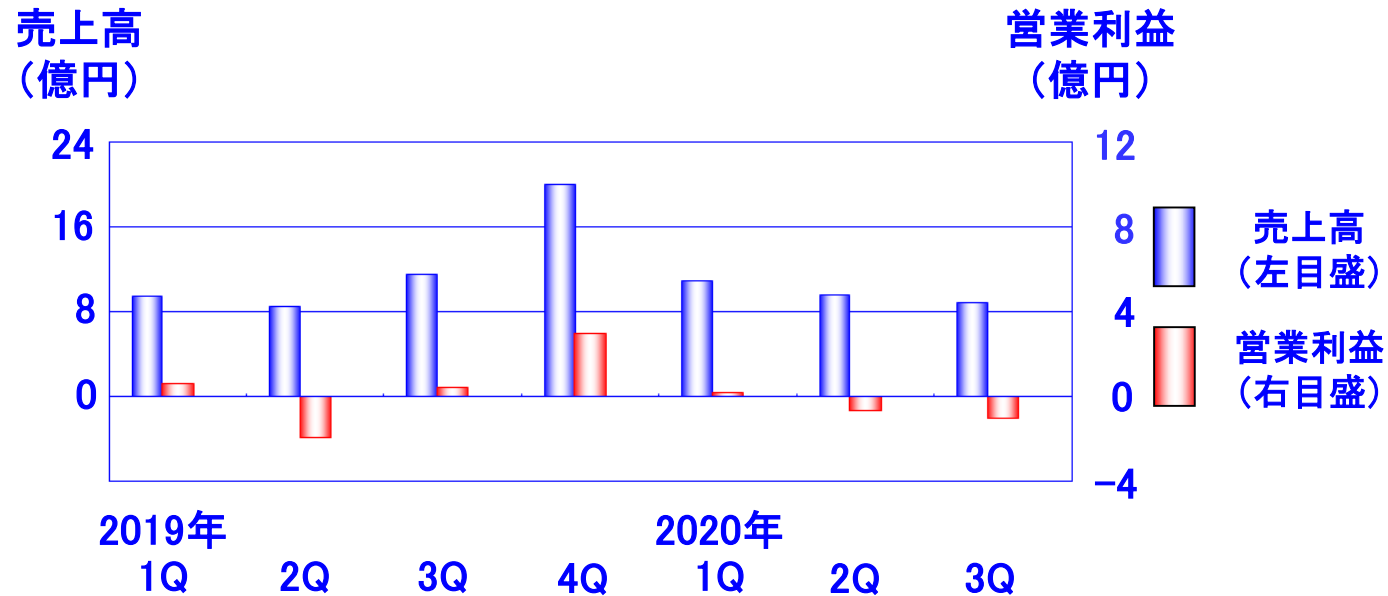
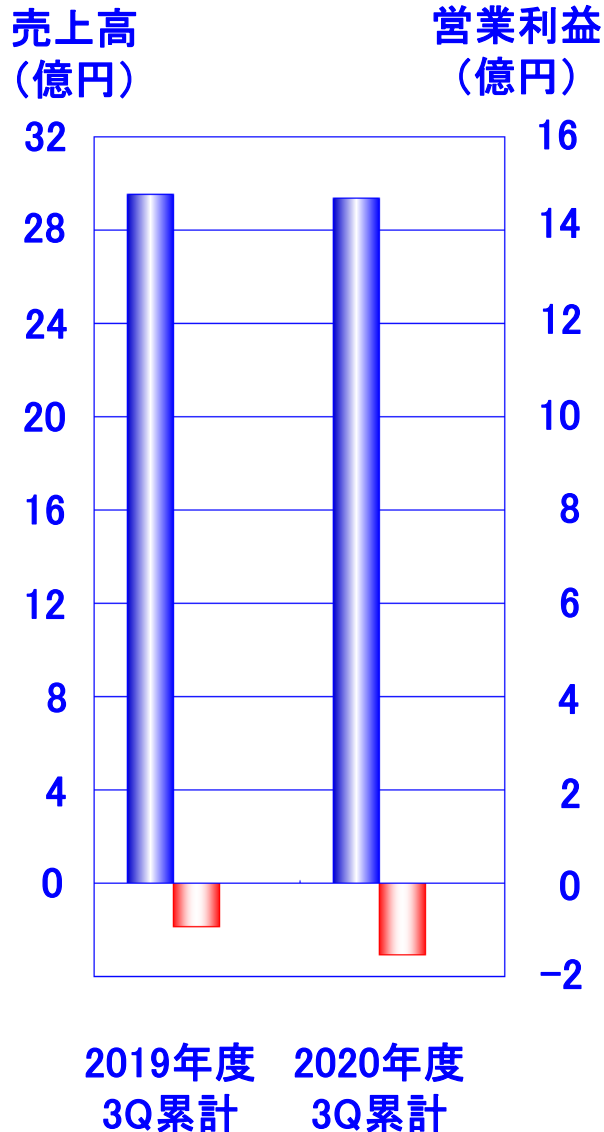
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン原料およびタイヤ用接着剤が、米中貿易摩擦やコロナ禍の影響により、大幅な減収。 足元ではタイヤ用接着剤の回復傾向は継続 	
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響を受け、工事の延期や中止等が発生、材料販売や防水・止水工事の需要が減少し、大幅な減収 	
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向け中間体の競争激化等により、大幅な減収 	



過酸化水素及び誘導品（※）

- ・過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗剤向けの需要が増加し、増収。
- 一方で、過酸化水素は、工業薬品向けが半導体市場を中心に好調を継続しているが、コロナ禍の影響を受けた紙パルプ向けの需要が減少し、減収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・家庭園芸向け除草剤は、コロナ禍の影響による巣籠り需要により増加し、大幅な増収。また、ゴルフ場向け除草剤は需要が堅調に推移し増収となったが、一方で農耕地向け及び殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少し、大幅な減収

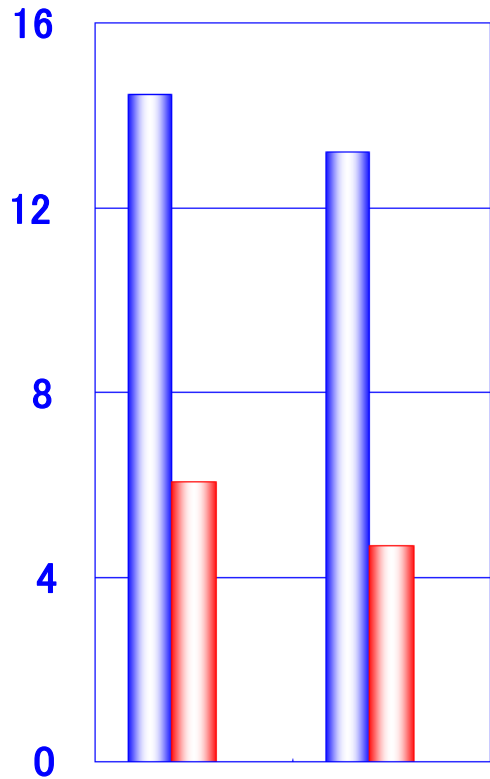


売上高
(億円)

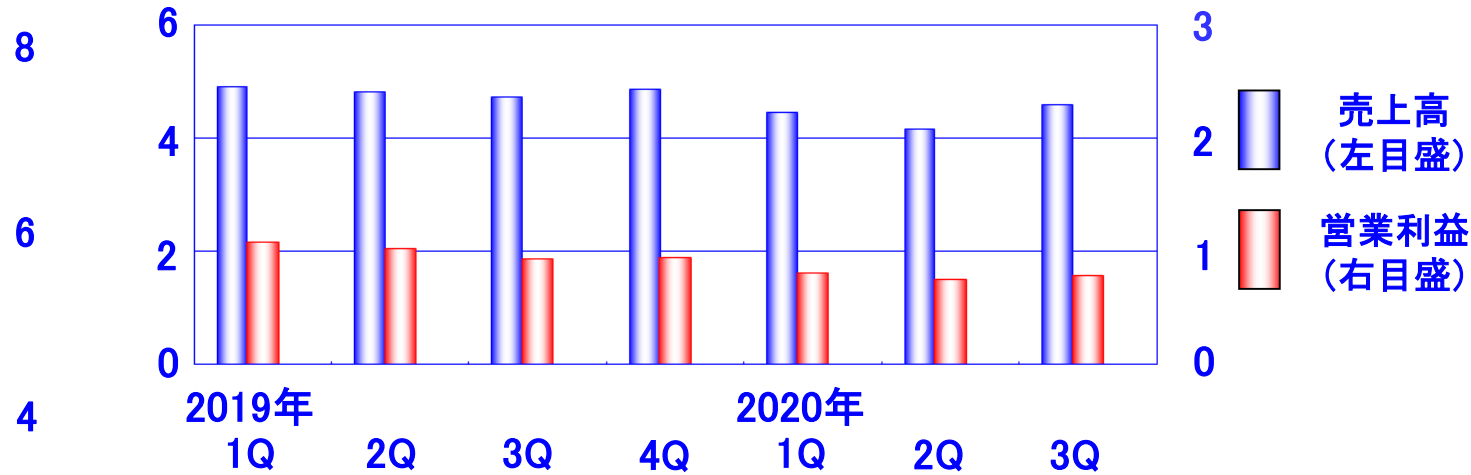
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2019年度 2020年度
3Q累計 3Q累計



物流関連 ・コロナ禍による物流の停滞や米中貿易摩擦の影響を受け、輸出の取り扱い量が減少し、減収

